

大阪府都市整備部河川室殿

平成26年10月11日

〒567-0814 茨木市戸伏町 4-14

野村東洋夫

(安威川) 台風11号による水位上昇と土砂堆積 についての質問

今年8月9日、10日の台風11号の際、安威川堤防に近い茨木市戸伏町などには市の広報車が出動し、安威川水位が避難判断水位(3.70m)を超えたことを伝えていました。聞くところでは、同様の災害情報がテレビやケイタイにも流れた模様です。しかも後日、茨木土木事務所に問い合わせたところ、この時の千歳橋水位観測所のピーク水位は4.29mに達し、これは氾濫危険水位(3.83m)をも大きく超えるものだったとのことでした。

(質問1)

同事務所によればこの時の安威川上流域(檜田・見山)の雨量は(資料1)の通りですが、実は8月9日と10日の降雨の間に20時間ほどのほぼ無降雨の時間帯がありますので(資料2)、9日、10日それぞれの日雨量としては(資料1)下段の「既往最大日雨量」を大きく下回ります。この程度の雨量で氾濫危険水位を超えるようでは、今後の大雨で越水や破堤の危険もあることになりませんか。

(質問2)

17年前(1997年)の写真と比べましたところ、現在の安威川(千歳橋～宮島橋)の低水路における土砂堆積が大幅に増えているのは明らかですし、今後も安威川ダム工事現場から大量の土砂が流出するでしょう。特に千歳橋から先鋒橋までの区間は堤防沿いに人家が密集しています。大阪府はこの危険な現状をどのように認識しているのでしょうか。

(質問3)

中でも千歳橋水位観測所地点の土砂堆積は問題で、低水路のほぼ2/3は土砂で埋まっています(資料3)。これでは観測水位が高くなるのは当然です。現にこのことは台風11号の際の痕跡水位によっても明らかで、観測所直上流に落差工があるにも拘らず、その前後で水位が全く低下していないのは、この土砂堆積が原因です(資料4)。千歳橋水位観測所は安威川本川における主要な観測所ですから、このような異常な状態を放置しておいて良い筈がなく、逆にもしこの土砂が除去されておれば、上記の人騒がせな広報車出動やテレビ、ケイタイの災害情報も必要無かったと思われませんが、如何でしょうか。

※ご多用中恐れ入りますが、10月31日までに文書で回答願います。